

# 高校生たちも富士宮商店街の活性化に向け考え実践

## 定例会で商店街若手リーダーと座談会 現状分析と課題を整理も



西町商店街若手リーダーの近藤商店やじねんぼう経営者との意見交換

**情報発信ファイル**  
富士宮市内の高校5校の生徒が商店街活性化

地域振興・まちづくりなどの活動を高校生の視点で考え実践的に進めるとを目的に組織している



高校生たちも積極的に振興策の意見を出し合っ



開発の特産品試食で味やネーミング検討も行なった富士宮高校会議所のスタッフ

識を高め、かつ若者をターゲットにした商店街のあり方」  
「ハンドメイドの店や手作り商品が並ぶ店があってもよいのではないかと」  
町商店街若手リーダーとの座談会では、今年度の活動の審議に「西町商店街の課題と今後」の発展についてをテーマに、西町商店街の若手リーダー近藤商店と「じねんぼう」の経営者2人による「西町商店街の現状と課題」の話に続いて意見交換を進め、「高齢者だけでは

### つうじんの会 作品

ほほえみを鏡に返す朝の春  
羅針盤あるかのやうに雁帰る  
孤解かれ伊豆海岸に踊る椰子  
花巡る保育に生きて我が一生  
歌切りの背筋伸ばして日の永し  
それなりの幸せ今にさくらもち  
摘み立ての芹そはの味母の味  
暮れなつむ宿場を灯す花明り  
しめ切りの迫る投句や春の雷  
鶯が朝の静けさ解きほぐす  
墓訪ひて供養の煙草竹の秋  
領くは言葉のひとつ春炬燵  
美しき花に隠れて木瓜の花  
故郷を常のころに啄木忌  
にぎやかな園児の列の花明り  
庭石を音なく濡らす花の雨  
子等送り春の満月仰ぎけり  
片言に届く異国の花便り  
遠富士の峰にたたる初桜

水原 東  
吉井 仁  
高柳 富枝  
高木真砂代  
芝 けんじ  
落合百合香  
久保田直江  
松下 未歩  
原 萌  
榎松 恭子  
丘 くるみ  
山崎 ミエ  
正岡 諾  
清 木かおり  
松 木咲  
杉 まこと  
加藤 衣美  
久保よしえ  
鈴木 正夫

# 『一灯照隅』さらなる地域活動に思い深め

## 九州人会総会

### ボランティア活動 尽力の会員表彰も

富士山をめぐりに住む九州出身者でつくる九州人会(村山茂会長)はこのほど、富士宮市中原町の宝珍菜館で平成29年度総会を開き、地域活動の推進など事業計画を決め、ボランティア活動活動者などの表彰を行い、続く



村山会長が今年度の活動発展を祈念して乾杯を

九州・沖縄各県出身者が集う同会は、「県人会意識の枠を越えて結束し、相互の親睦と相互連携を強めると共に地域社会の人たちとの融合連携を通して文化の発展向上に寄与、貢献すること」を理念として、福祉施設や地域の美化ボランティアをはじめ富士山文化振興など幅広い活動の輪をひろげている。各県が持ち回りで集いを担当している同会では今回、佐賀県の担当で総会を開いた。参加者全員で九州人会理念を唱和して始まった総会では、村山会長が挨拶で「一灯照隅」の言葉を九州人会のボランティア活動に重ねて「無為無心に額に汗して働く会員諸氏の姿は、人間の老境の輝きとして私の目には



さらなる活動推進に思いを深めた九州人会の会員(宝珍菜館で)

感謝状を贈った。議事では前年度の事業報告や、季節ごとの集い「ハイキング」・潤井川の土手清掃・介護施設の清掃などボランティア活動(年間5回予定)実施の今年度事業計画を決定し、理念に基づいた活動を再確認した。

総会に続いて料理を囲んで懇親会が催された。懇親会では各県別に近況を語り合うなど、踊りや歌なども楽しんで親睦を深め、余興の「昭和歌謡楽団」メンバーの演奏と歌。会員のカラオケなどで盛り上がり、予定時間をオーバーしての集いは恒例の九州一本締めで締めくくった。

同日は、若手会員が手づくり編集した会報第22号も発行、配布した。同号は村山会長の巻頭言のほか、昨年度の活動記録を写真で追った員・会の規約・会員名簿などで

構成している。

【九州人会役員】(敬称略)

▽会長 村山茂▽副会長 山口義郎▽幹事長 草野昌和▽副幹事長 平手憲一▽会計 米山由美恵▽相談役 小林秀昭▽広報 山口康彰▽記録・編集 加藤博之▽大淵宏二▽監査 白嶋正人

【ボランティア活動・参加表彰】(敬称略)

▽金賞(5回活動) 村山茂、山口義郎、草野昌和、寺原浩、小林秀昭、山口康彰、池上徳治

▽銀賞(4回活動) 蓮子忍、大淵宏二、佐竹寛石田美智枝、中谷公彦

▽銅賞(3回活動) 平手憲一、加藤博之、米山由美恵、原義廣

同会では新入会員の募集も受け付けている。詳しいことは、広報の山口康彰さん(0800・2612・3754)まで。